



RIKKYO SECOND STAGE

Contents

- P1 定年を迎えるにあたって
- P2～4 本科・専攻科生からの一言メッセージ
- P5 ～今を生きる女性たち～Featuring Women
- P6 本科ゼミ合同合宿・講演会・ホームカミングデー
- P7 オンライン活動支援委員会・立教大学のクリスマス
- P8 修了生の活動・オリパラボランティア経験談・課外活動

立教セカンドステージ大学(RSSC)は、立教大学が提供する生涯学習の場です。RSSCは、RIKKYO SECOND STAGE COLLEGEの略称です。

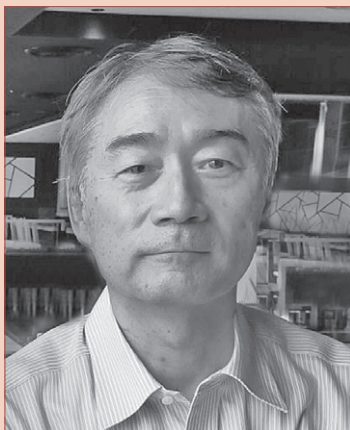


発行：立教セカンドステージ大学
 編集責任：長 有紀枝 編集：ニューズレター28号委員会
 発行日：2022年2月4日
 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1



定年を迎えるにあたって

立教大学理学部教授 立教セカンドステージ大学担当教員 松山 伸一



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために布かれていた緊急事態宣言が解除になり、立教大学でも1年半ぶりに本格的な対面授業が再開されました。多くの学生たちがキャンパスに戻り、活気にあふれています。オンライン授業では友達もできませんし、恋も生まれません。再び、

キャンパスの灯が消えないことを祈るばかりです。

世界中が大きな影響を受けているパンデミックの中、2022年3月に定年を迎え、退職することになります。無事に定年を迎えられることを喜びつつ、恩師や教職員のみなさんからのご指導やご支援、多くの卒業生のみなさんの協力に心より感謝いたします。

40年以上前に学生として生命科学を学び始めたころに比べると、この分野は世界中の多くの研究者の手によって大きく発展してきました。それを感じるのには手元に置いている各分野の代表的な教科書の厚さです。私が学生のころに悪戦苦闘した教科書は数百ページの薄い1冊の本だったのですが、それが今では上下巻2冊で各巻1000ページ近い分厚いものに様変わりしています。また、立教大学に赴任した19年前に授業で話していたことが、今では高校の教科書に詳しく書かれている時代になりました。現代の若者は高校や大学で学ぶことが格段に増え、

内容も細分化されてむずかしくなっていますが、私はそれを40年かけて少しずつ学んできたにすぎないということに改めて気づかされます。さらに、当時は2、3の簡単な実験技術を使ってのんびり研究していましたが、その後の研究の高度化と研究技術の進歩により、今の学生は膨大な情報に日々アクセスし、多くのむずかしい技術を駆使して研究に取り組んでいます。恥ずかしながら当時の私には、このような学問の著しい発展とともに質、量ともに密度の高い学習や研究を強いられている現代の学生は務まらなかったでしょう。つくづく40年前の学生でよかったと実感しています。

その一方で、教員として学生たちに接して感じたことは、人として健康に生きていくためのリテラシーを高校までの理科教育で身につけていないということでした。テレビ、SNSなどから発信される玉石混淆の情報に惑わされて、必要なものにたどり着けない学生たちの健康が脅かされていることを知りました。「学生の健康こそが大学の教育力の基礎だ」という思いで、全学共通科目を通して、栄養学と医学の基本を授け、自らの生活をデザインする力を育む授業を13年間、試行錯誤しながら展開してきました。食べ物があふれる現代において、なぜ、大学生に食育が必要なのかといぶかしがる向きがあるは承知の上で、『若者の低栄養が日本を滅ぼす』という誇大広告的な危機感をもって定年まで突っ走ってきました。

定年退職後は、RSSC受講生のみなさんの持続的な好奇心に刺激を受けながら、これから私に何ができるのか考えて、実行できるささやかなことから始めてみようと思います。

【本科】

阿部ゼミ テーマ：得意なこと、苦手なこと

- ★得意な事は、寝入りが早い、待ち時間が気にならない。苦手な事は、高い所から下を見る、小まめに掃除する。(浅見泰)
- ★得意なことは早起きで、苦手なことは地図を読むこと。よく迷います。(大月恵子)
- ★得意なこと：興味があることに飛びつけること。苦手なこと：手先を使う地道な細かい作業。(風間妙子)
- ★得意なこと、興味ある事に意欲的に取り組む。苦手なこと、パソコン操作。あたふたしています。(熊田寿子)
- ★得意なこと：ひとつの作業に集中して取り組むこと。苦手なこと：ゴルフのバンカーショット。(毛塚悟巳)
- ★得意なこと：音楽と人の顔、一度聴いたり会うと忘れない。苦手なこと：AV機器の操作 (塩田美智子)
- ★得意なこと、知らない事を他人に直ぐに聞ける。苦手なこと、必要以上に頑張る。(TACHIO)
- ★得意なことは無いなあ。苦手なことを安請け合いしてしまうことは得意かな。でも失敗ばかり… (橋本修)
- ★空気を読むのが比較的得意です。苦手なことはペースを乱されることです。(弘末公洋)

上田(信)ゼミ テーマ：セカンドステージ大学の勉強での気づき

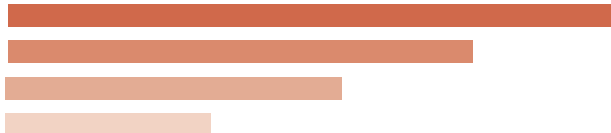
- ★個人と社会とのつながり方について私はなんと鈍感で無知であったことか。(岡部栄一)
- ★自由な一市民として学びの場を持つことができたことで、リベラルアーツとして学問を学ぶことができた。(小島英彦)
- ★視野を広げる為に入学した大学、しかし皆の勉強に真摯に向き合う姿に、刺激を受けました。(K.S)
- ★勉強することがこんなに楽しいとは思わなかった。知る喜び、調べる楽しさ、議論するうれしさ。最高！(志波)
- ★講義では受講生の学ぶことへの意欲の強さを感じ取りました。関心を持っていることが多彩であることに刺激を受けます。(高橋八郎)
- ★受講した科目で紹介された書籍を読む機会があり、視野が広がった気がする。(梨子本絃)
- ★学びは一人でも可能かもしれないが、学友がいてこそ刺激しあい、考えを深めていける事に気づいた。(橋本優子)
- ★様々なバックグラウンドを持つ方々との話は新たな学びがありとても刺激的。今後も多くの方と親交を深めていきたい。(山田耕平)
- ★知らない事ってまだまだあるはず、自分の好奇心と向き合い、まずはやってみる！(渡邊しげ子)

大野ゼミ テーマ：RSSCに入学してみて

- ★現実空間での立教ライフは秋学期から。本号発刊時には同期の皆さんとリアルに対面してますように。(門脇重光)
- ★人との出会い、新しき知識との遭遇、パソコン操作、そして何より思索の大切さ。神に感謝です。(上瀧映)
- ★こんなにパソコンを使用することになったことが驚きであった。(Hitoshi)
- ★春はパソコン越しの出会い。それでも様々な出会いから道が開かれていくのを実感します。(鈴木恵美子)
- ★還暦を過ぎて新しい仲間との出会いがあり、刺激をもらえることは幸せなことと感謝しています。(趙 栄順)
- ★ゼミの多彩なメンバーや講義で一緒になった受講生の熱い思いを伺い、日々刺激を受けています。(富田由美)
- ★楽しく学ぶと考えていました。伏兵あります、この戦いに勝利して援軍の皆様にありがとうと叫びたいです。(君子・N)
- ★学問も学問以外も今まで知らなかった世界をたくさん知ることができました。まだまだ人生楽しめます！(野口聡)
- ★生活リズム安定、学ぶ楽しさ味わい、ZOOMでネットリテラシーも向上、仲間とも出会い、秋の対面に期待。(森田剛年)
- ★学び直しの積みだったが、学び始めとを感じる充実した時間だった。発想の違いを感じる出会いも新鮮でした。(山本哲男)

栗田ゼミ テーマ：3年後の自分

- ★40年ぶりにヨーロッパ各国を放浪旅行するのが目標ですが、環境が改善していない場合は国内放浪です (河村宣幸)
- ★RSSCの経験を活かし、何か勉強 (多分、近現代史) をしていると共に、2、3の趣味を楽しんでいる。(熊谷隆)
- ★3年後の私はたぶんリモートで仕事をしながら夫と2人で遊牧民のような生活を楽しんでいます。(高輝子)
- ★人生とは自転車のようなものと、アインシュタインは言っていた…3年後も走り続けていると思う。(小柳増美)
- ★地域活動に積極的に参加し「困った時に助け合えるコミュニティ」づくりのお手伝いをしたいです。(笹本美登里)
- ★RSSCでの学びを活かして新しいコンテンツを作り、仕事の幅を広げています。(玉木晶子)
- ★手話の検定を取得し、聞くこと、話すことに不自由な方を集めて手工業の会社を興す。(出口和男)
- ★RSSCでの学びを忘れず、日々健康で過ごし、ちょボラで生きがいも感じ、趣味も上達！(そうだといいな)(萩谷直子)
- ★まだバリバリ仕事をしていると思います。目標は4年後退職して専攻科へ出願し、5年後学びの情熱再び!です。(山口拓也)
- ★憧れのピラミッドで遥か4,500年前の人々の知恵と汗の歴史を五感で味わいながら、クフ王と古代ビールで一杯。(山元悦夫)
- ★趣味三昧 (メカトロニクス・日曜大工) の日々と自然保護のボランティア活動をしているでしょう。(渡辺和夫)



みなさんからのメッセージを紹介します

佐々木ゼミ テーマ：コロナ禍でのRSSCへの思い

- ★学校に行けないのは寂しいけれど、ZOOMで会えたから耐えられた。もしZOOMがなかったら…、認知症になっていたかも?(中田克己)
- ★RSSCに入学して、パソコンを操作できるようになりました。ズームを使っての授業は貴重な経験になりました。(池田祐子)
- ★これも適応力?違和感のあったズーム利用がふつうになってしまった今日のごろ。後半は、反転、対面中心で行きたい!(鈴木洋美)
- ★車とバイクが大好きな親父です。みなさんの足手纏いにならないように、少しだけ頑張ります。(黒木良則)
- ★ZOOMでの授業、オンライン談話会、遠くてもつながるってすごい!コロナ禍だからできたこと。(大場広子)
- ★不思議ですね!対面だとマスク姿でみんなの顔がわからない。笑顔も困った顔もZOOMならではの臨場感。感謝!(木村光伸)
- ★ZOOMで見慣れた顔が、対面ではマスク着用になるので違和感があるかも。でも楽しみです。(角 洋子)
- ★10年前に入学を決意。オンライン授業にも慣れました。若い学生のことを考えると、我慢、我慢ですね。(茂木直人)
- ★ZOOMでも学べる喜びを感じています☆休日はエコラフトバッグやつまみ細工を作っています。(松田雅美)
- ★憧れの学び舎へ通って、青春よう一度、と想っていたのですが。コロナ禍でその想いは不完全燃焼に。(keiko)

野田ゼミ テーマ：私のお気に入り

- ★愛犬ラブラドル、ボーダーコリー 2匹、イングリッシュコッカー(今は2匹と生活)、ミュージカル、ワイン、京都、裏千家(ま〜君)
- ★美味しいものを食べた時、いい映画を観た時、黒猫を見たとき、すみれを見つけたとき、旅をしたとき〜(しじみ)
- ★オシャレCafe、街歩き、新しいジムのサウナ、お部屋に花やグリーンを飾るのもコロナ禍になってからの私のお気に入り!(ちはる)
- ★散歩・コーヒー・シャインマスカット・日光・紅茶パン・マッサージ・ゆっくり入る温泉・牛たん(たけちゃん)
- ★広島カープが勝った時、広島風お好み焼きが焼き上がりオタフクソースをかけた時、モカハラーを一口飲んだ時(KY)
- ★朝は牛乳たっぷりのフルーツグラノーラ、昼は丸亀うどん、夜は餃子に冷たいビール(WK)
- ★60過ぎ手習サックス初心者:ミーシャドリカム J U J U 竹内まりあ ジャズ スイング だがリズムが!裏拍が!ウンチャが!(プーさん)
- ★本、物語、朗読、青いノート、珈琲、チーズケーキ、青い鯨の箸置き、本屋さん、劇場、芝居、旅、歩くこと。(KIMI)

平賀ゼミ テーマ：至福の時

- ★誰にも邪魔されない好き勝手な、バイクでの一人旅。長旅出発時は、何故か妻も嬉しそう(苦笑)。(石塚浩哉)
- ★Spotifyでお気に入りの音楽をかけながら、食事を作ったり掃除をしたり「まったり」するとき。(はるるこう)
- ★コロナ感染拡大のため、半年間会えなかった母に会った。笑顔で話が弾み、元気でいてくれたことに幸せを感じた。(T.H)
- ★古典和歌を学ぶ機会を得て短歌にはまりました。あれこれ推敲を繰り返す忘我の時を楽しんでいます。(木内弘之)
- ★長期間苦勞してやっと新製品を完成し無事納品が完了した日、早めの帰宅で一杯のビールを飲む瞬間。(小関栄一)
- ★大掃除も終わり、お節も出来て、後は元旦の朝を迎えるだけ…。そんな大みそかの夜、湯船に浸かっている時。(RM)
- ★お気に入りの音楽を聴きながらビール片手に読書、そのまま昼寝に突入する瞬間(海辺のリゾート地だったら最高!)(TO)
- ★絶好調デジレ・ランカトーレのソプラノソロ、スタンディングオベーションへアンコール5曲、娘と視線交わす時。(パウダーパンパ)
- ★夏の気配が残る高尾山。沢伝いの急坂を往復すること3時間。麓の蕎麦屋で、銀杏をつまみに中ジョッキを飲み干した時。(上條)

松本ゼミ テーマ：これからチャレンジしたいこと

- ★日本全ての世界遺産と温泉地を巡る。手話で会話出来るようになる。(小関純子)
- ★子ども達のために、EQ【こころの知能指数】を日本中に広めるぞ〜。(仙人)
- ★コロナが収まったら、台湾旅行に行きたい。1ヶ月位かけてのんびり台湾一周にチャレンジしたい。(荒井 茂)
- ★今まで機会がなくてできなかったゴルフに60歳半ばで初チャレンジ!めざすはホールインワン!(にへいりつこ)
- ★長年の夢である、ウィーンの楽友協会のニューイヤーコンサートに行きたい。(家城千津子)
- ★いいカメラを買って写真がうまく撮れるようにしたいですね。迫力ある山岳写真など撮れるといいな。(TA)
- ★自分自身の「心を清める修行」の為に「四国八十八札所」遍路をしたいと思っております。(N.S)
- ★ディスカバージャパン、歴史・名所・食物など探検と発見と感動する旅、日本一周に挑戦しようと思う。(久納)
- ★毎日8,000歩を歩く。健康寿命を延ばして、日々元気に過ごしたい。(K.K)
- ★RSSCを修了したら、ニュースのファクトチェック活動をお手伝いしたいと考えています。(大谷文敏)



一言メッセージ



【本科】

松山ゼミ テーマ：自己PR & 幸せを感じる時！

- ★嵐ファンでコンサートに行くのが楽しみでしたが、今は大人しく0歳時の初孫の世話、1人家飲みくらいです。(あり)
- ★コロナが終息した時と言いたいが、本音は修了論文が書き終わったらシアワセという小物な私です。(K.O.)
- ★リパールの勝ちゲームを見ながら、ワインを飲んでるとき。(M.OBATA)
- ★社交ダンス、道草、読書、緑の中のでんぐり返しです。(M.K.)
- ★息を殺してカメラのシャッターを切る時、木陰で心地よい風に吹かれる時、親交の盃を飲み交わす時。(K.S)
- ★孫と過ごす時間。習い事への送迎は勉強と並ぶ私の“仕事”孫3人の成長を見守る時間の中に幸せを感じます。(ジョウさん)
- ★毎朝TVで後輩の水トちゃん的笑顔を見て、ホッと、ニコッと、ニヤッと、妻ににらまれる、変なジジイです。(T.M.)
- ★ヨガ・水泳後の温泉でのひと時、「137億年の物語」を読んでいる時間、家族一同で食卓を囲んでいる時！(Lina)
- ★南国育ちの暑がり屋、インテリア好き。子供と一緒に動物の森、桃太郎電鉄等ゲームする時間。(あっちゃん)
- ★美味しい食べ物、読書三昧、友との語らい、木々の色づきや木漏れ日。元気で暮らしている事。(Y.Y.)

【専攻科】

上田(恵)ゼミ テーマ：好きな動物

- ★キャバリア・キングチャールズ・スパニエル、王様みたいですが我が家のワンコ(の犬種)賢くありません。(高野雄太)
- ★我が家の同居ワンコはシワシワ鼻ペチャのバグ娘14歳。性格は、唯我独尊、泰然自若。人生の師です！(加藤美鈴)
- ★睡眠時間を削って大量の餌を食べ続ける草食動物。高カロリーの餌を食べ、半日は寝ているネコが羨ましい。(池田勝義)
- ★岩合光昭さんの「世界ねこ歩き」を見てから、愛くるしさや賢さを再認識し、ねこ好きになりました。(檀原宮子)
- ★私にとっては、難しいテーマである。どんな動物でも身近で自分を癒してくれれば、この上ない幸せである。(佐藤敏也)
- ★我が家はペットの避難所です。つがいのウサギがケージごと置いて行かれ、子ウサギも誕生しました。(野口憲一)
- ★私の好きな動物は、以前飼っていたインコ。肩に止まったり口を突いたり、とても可愛くて楽しい思い出。(柴田稜威夫)
- ★昨年まで17年間家族同様、一緒に暮らしてきたトイプードルががんで亡くなりました。今でも夢を見えています。(薄井哲夫)

高橋ゼミ テーマ：大学生に残したいもの・言葉

- ★緒方洪庵が適塾を築立っていく門下生に贈った言葉です。「事に臨んで賤丈夫(卑しい男)となるなかれ」(鎌倉)
- ★今後、より便利で効率的な社会になるが、豊かな人間性はゆったりした中で育まれます。青春18きっぷがオススメ！(H.S.)
- ★我々がそれを残したことでどうしたのか？君達が探すことだよネ。私と少なくない友もそうであったのだから…(K.T.)
- ★若者よ！是非若い時に海外生活体験を。外からの日本を知り、自分を知り、未来に希望を持てる価値観に。(N.N.)
- ★色々な経験、身に付けたことは必ず役に立つ。いつか自分を助けてくれる。失敗も成功も経験は宝。(Nori)
- ★大学の時間は、時間を自分が管理できる煌めきの時です。「時間を無駄にせず、チャレンジしよう！」という言葉を残します。(T.F.)
- ★7月に古希を迎えた。大学生の方々には自戒も込めて、『人生にチャレンジして！』という言葉を残したい。(Y.S.)
- ★東に困り人あれば助け西に悪しき人あれば戦い南に悩む人あれば共に悩み 北に驕る人あれば窘めるそんな人に。(賢治弟子)

渡辺ゼミ テーマ：エンジョイ セカンドライフ

- ★修論の手前に立ち上がるゼミの課題と sociology の宿題、修了後に何するか？の課題は更に重い…(深谷康壽)
- ★本も読んでいない。修論も書いていない。でも宣言も解除されたことだし、何はさておき、まずは旅行かな。(庄野朋子)
- ★「久しぶり 通学始め 対面の 授業をうけて ひとしお懐かし」、「初めてのゼミ仲間との対面は 画面と違い 温かみ感じ」(古賀節彦)
- ★海外旅行へ行くときは、着いた先の動物園に行くのが好きだ。50年前のロンドンでパンダを初めて見た時の驚き。(松沢勝)
- ★コロナの緊急事態宣言が解除され、やっと通学できるようになりました。この状況が続きますように。(奈良田優)
- ★今日も10キロラン。火照った肌を秋風が冷やしてくれて、すがすがしく気分転換。さて、論文。疲れたので、明日にしよう。(坂川克己)
- ★記憶力低下を嘆きつつZoomでの顔覚え対面する新鮮さ。(豊田さち子)

～今を生きる女性たち～



インタビュー～

みなさんはどんな性格ですか？

- 大場さん：ポジティブ・せっかち・男前（らしい）
 神崎さん：一言で申せば、「猪突猛進」な性格です
 小関さん：姉御肌、旅館の女将が合うとよく言われる
 玉木さん：サザエ、のび太、ちびまる子の融合
 富田さん：なんでも興味を持ったらとりあえずやってみる。せっかちでおっちょこちょい

教えてください？



- ① 何故立教を選んだの？
- ② RSSCへ入学を決めた時の家族や友人の反応は？
- ③ 現職もしくは前職は？
- ④ 修了したら何がしたい？

松山ゼミ 神崎 真理子さん

Mariko Kanzaki



- ① 総合大学として、多彩な授業から選択でき、学べるため
- ② 50歳から学ぶという意欲に励まされたとの驚きの声が多かった
- ③ 音楽家(歌手)
- ④ 歌手一筋できた人生だが、RSSCで学ぶことで違う世界を知り、自分を飛躍させてみたい

歌手として、全国各地を飛びまわる生活を25年以上続けてきました。しかし50歳を前にして訪れたコロナ禍。人生初めて、静かに自分の将来を考えました。このままでよいのだろうか。もっと別の世界で羽ばたけることはないのだろうかと思いました。

勿論、音楽を軸にして、より表現力を高め、多くの人達と感動を分かち合うには幅広い知識とRSSCの先生や同級生との交流も私の心の血となり肉となることを期待しながら、日々の新しい知識と刺激にワクワクする毎日です。

栗田ゼミ 玉木 晶子さん

Akiko Tamaki



- ① 小谷みどり先生の新聞記事を拝読して
- ② チャレンジ精神があるね～
- ③ 色彩企画（印刷企画、ユニバーサルデザインなど）、服の管理術ご提案
- ④ ユニバーサルカラーの普及、持続可能な服管理ご提案

若い頃は子どもを育て上げたら人生の大半が終わるよう思っていた。いざそれが近づくと、残りの人生がまだまだあることを実感。セカンドステージの今後とモデルケースを見つめたく入学した。そして私も後に続く世代の方たちのための事例の1つになると幸いだ。

有吉佐和子氏の「複合汚染」に影響された母から、事あるごとに資源循環や共存共栄を煩く聞かされて育ち、社会に出て目先の利益優先の構造に疑問を持っていった。しかし時代に合った考えでないためひっそりと続けていた思考や生活が、講義でSDGsという言葉で公明正大に語られ推進されていることに驚きと喜びを感じている。

佐々木ゼミ 大場 広子さん

Hiroko Oba



- ① この年齢でも入れる学校を探していた
- ② 女性や子供たちは応援してくれている
- ③ 鉄工所事務（役員）
- ④ 地元の子供たちが集まれる場を作る

高卒で就職した私は、子供たちを大学に出して、無性に大学に憧れを持つようになった。社会勉強をするため入学したが、この年齢になっても、こんなにたくさんの仲間ができるとは。地域、年齢、職歴などが違い、歩んできた人生もばらばらな人たちが集まっている。このような集団はなかなかないと思う。これからのセカンドステージをどのように生きていけばいいのか、また、コロナ禍で社会が一変した今、どう対応していけばいいのか。様々な学問や提案があるセカンドステージ大学で、人生の先輩たちの学ぶ意欲の高さに刺激を受けながら、私も成長し続けたい。

松本ゼミ 小関 純子さん

Junko Koseki



- ① RSSC理念、校舎に憧れて
- ② 会社辞めて大学？びっくり！らしいね
- ③ 証券会社リテール営業
- ④ 六次産業化で地元山形の農業に携わり地方創生に貢献したい

私の東京デビューは49歳。東京での生活はとても魅力的でしたがコロナ禍で生活が一変。母の介護もある中、これからの生き方に迷ってしまった時RSSCを知り思い切って会社を辞め学びながら模索しようと考えました。大学での学びは、置き忘れていた学びの楽しさや故郷への想いを呼び起こさせてくれました。大好きな故郷の為に、六次産業化プロジェクトと高齢者を支えるNPOに関心を寄せ、その為に必要なスキルを、多様な経験を持つ仲間と先生に支えられながら猛勉強中です。立ち止まってじっくり考える、だけど歩みを止めない。RSSCはそんな居場所になっています。

大野ゼミ 富田 由美さん

Yumi Tomita



- ① 立教の卒業生で親しみがありました
- ② 家族「へえ。頑張って」
友人「これ以上なにがしたいの？大丈夫？」
- ③ 旅行会社勤務。キャリアコンサルタント
- ④ 人のキャリアや人生に寄り添う仕事を長く続けていきたいです

新卒で女性の活用が比較的進んでいる旅行会社に入社し、無我夢中で働いてきました。仕事も大好きですが、40代後半から見えないガラスの天井を感じ、自分の人生に閉塞感を抱いていた時に、先輩の勧めでキャリアコンサルタントの資格を取得しました。その際に知り合った方々の向学心と人への興味と優しさに大きな影響を受け、教養のない自分が恥ずかしく、もっと学びたいという気持ちを持ちました。日々、RSSCの皆様の多彩な考え方に触れ刺激を頂いています。将来的には、同じ様に悩める働く女性のキャリアや人生を多面的にサポートする仕事をしたいと準備中です。

2021年度RSSC本科ゼミ合同合宿・講演会

新型コロナウイルス感染拡大の波を受けて、本科ゼミ合同合宿が8月27日・28日に、初めてオンライン開催されました。本科生、専攻科生はZoomでの参加となりました。

◆ 8月27日

テーマ「RSSCは次世代に持続可能な社会を残せるか？」

I部 講演会

「Z世代からRSSCへのSDGsメッセージ
～立教大学学部生とRSSC受講生の異世代共学の場～」

発表者：立教大学 学部生 2名

「わきまえない女は“わがまま”なのか？

～高尚なSDGsからの脱却を目指して～

講師：宮崎紗矢香 人間活動家（立教大学2020年卒）

「渋沢栄一の『論語と算盤』の現代意義に学ぶ

～ポスト・コロナに繁栄する社会と企業経営～

講師：渋澤健

シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役

II部

「自己理解が社会貢献につながる

IKIGAI Map®ワークショップ」

講師：マリア（柳井和子）IKIGAI Map®ファシリテーター

◆ 8月28日

「ぶらりオンライン散歩道
～大学・池袋周辺を一緒に歩いてみましょう～」

「ビブリオバトルゼミ対抗戦」

阿部ゼミ 毛塚 悟巳

書籍名 『ポッコちゃん』 星 新一

大野ゼミ 森田 剛年

書籍名 『きいちゃん』 山元 加津子

栗田ゼミ 熊谷 隆

書籍名 『「男はつらいよ」の幸福論』 名越 康文

野田ゼミ 戸張 君代

書籍名 『阪急電車』 有川 浩

佐々木ゼミ 鈴木 洋美

書籍名 『私の朝鮮語小辞典ーソウル遊学記』 長 璋吉

「フリートーク」

（氏名は敬称略）

ゼミ合同合宿講演会参加人数（教職員含む）

8月27日

I部 99名

II部 58名

8月28日

ぶらりオンライン散歩道 74名

ビブリオバトル 74名

フリートーク 78名

ゼミ合同合宿・講演会

ゼミ合同合宿は、例年、清里の清泉寮にて2泊3日で行われますが、今年はコロナ禍の影響によって、オンラインによる2日間の開催となりました。合同合宿委員の創意工夫と大学側のご尽力によって、オンラインの特性を活かした新しい形のイベントに仕上がりました。宿泊形態よりも参加しやすくなり、例年よりも参加者数が増えました。

第1日目の講演会は、まず、RSSCの「異世代共学の場」という特徴を生かし、立教大学現役学生や卒業生の宮崎氏に登壇していただき、SDGs関連の国内外の社会課題への取り組みとその難しさを伝えてもらいました。改めてSDGsに関連する社会課題の解決に、RSSC生も主体的に取り組まなければいけないことを再認識しました。

次に、渋沢栄一の玄孫の渋澤健氏のご講演では、ポストコロナにおける新しい日本の成功モデルとしてMade in JAPANからMade With JAPANへ転換すべきとのお話を伺いました。NHK大河ドラマ「青天を衝け」が盛り上がっているタイミングでもあり大変好評でした。

最後に、IKIGAI Map®ファシリテーター柳井和子氏のご指導によるRSSC生それぞれの生きがいを自ら発見するワークショップを行いました。全国各地から参加していただいたIKIGAI研究員による丁寧なサポートもあり、参加者のセカンドステージを考えるうえで有意義な内容でした。

本講演会によって秋学期以降において学修に磨きをかけ、修了論文完成に情熱をもって取り組む良い機会となりました。

真夏の楽しい散歩道

私たちエクスカッションチームは、緊急事態宣言中だからこそ少しでもRSSCの皆様楽しい気分を味わって頂きたいと、オンラインでの散策を池袋周辺を中心に企画いたしました。気温36度の猛暑の中でしたが、2日間にわたり私たちも楽しく取材いたしました。スライド作りから始まり、本番では慣れないZOOM操作に戸惑いながらも4名のチームワークで、精一杯お伝えさせていただきました。少しでも皆様に楽しい夏の思い出をお届けできたなら嬉しいです。



RSSC事務室のサポートに感謝

ゼミ対抗のビブリオバトルには5人が登壇し、フリートークでは飛び入り参加を含めて4人の発表がありました。リハーサルを2回したので司会進行に問題はありませんでした。安定した通信環境を求めて登校したホスト担当にパソコントラブルが起きました。これを何とか乗り越え無事開催できたのは、RSSC事務室のサポートのおかげでした。感謝します。

立教大学卒業生のためのお祭り ホームカミングデー

今年もOnline開催となりました。



今年で創立147年。59回目のホームカミングデーが10月17日(日)に開催されました。メインMCに徳光和夫さんを迎え、西原廉大総長と巡る立教の歴史・立教探訪、池袋＆新座キャンパスツアー、オンラインクイズ大会など、立教について新たな発見が多い楽しい企画でした。また、上田恵介先生によるRSSC同窓会特別講演会やバーチャルツールを活用したオンライン同窓会は世界中どこに居ても学び集うことが出来る喜びを感じました。

コロナが早く収束することを願いつつ既に再会が待ち遠しい方が多いのではないのでしょうか。

【クイズ】 創立150周年に向け立教が出場を目指しているものは？（答えは8頁）



オンライン活動 支援委員会特集



コロナ禍でオンライン授業に切り替わる中、RSSC本科生のスムーズな受講をアシストする新しい活動がスタートしました!!今期を通して受講生に寄り添ったきめ細かいサポートを行った委員会の活動を特集します。

活動内容について意見交換し、多くの「ゼミ以外の方とも交流したい」という要望から、ZOOMオンライン談話室の準備を開始。「まず始めよう!」と、第1シリーズ(7~9月)をスタートさせました。好評の中、第2シリーズ(10~12月)、第3シリーズ(1~2月)を開催。ホストは委員担当でスタート。第2シリーズからはゼミ有志のホストも。19時枠、20時枠で、7~9月42室、10~12月37室を開催し、会話の場や仲間づくりのお役に立っています。

LINEグループ作り、オリエント博物館ツアーの話題から他のゼミでの実行内容等、情報活用や活動の広がりにも繋がっています。

とは言え、沢山の不安の中での模索でした。「談話室が溢れたら?」「ZOOMホストの経験が無い。トラブったら迷惑をかける」等、心配は山盛りでした。

「まず3カ月やってみよう。色々あるかもしれないが、

RSSCの仲間の寛容の心で許していただこう」と、7~9月のシリーズを開始することになりました。経験の少ない、あるいは無い中、委員がZOOMホストに挑戦することを決心。11名の委員は、個別の時間を取りZOOMホストトレーニングをして準備しましたが、正直なところ、最初の頃は不安も沢山ありました。7月、8月の談話室の皆さんからの感想は、とても良好で「継続開催の声」が多く、秋からの第2シリーズ、1月からの第3シリーズを開催することになりました。

第1シリーズは、4~10名/室ほどの参加者でちょうど良い人数。参加の約40~50名(推定)の皆様にご満足いただく、あるいはこれまで参加されなかった方にもご参加いただくためにはどうしたら良いかを意見交換し、訪問する談話室を選べるよう、部屋の看板を2つ準備。「テーマでおしゃべり」と居酒屋風の「雑談おしゃべり」です。このほか、シニア用のZOOMマニュアルとパワーポイントマニュアルを6月に各ゼミに届けました。

また、修了後考えた今後の活動を10月に議論。ZOOMの無料版やLINEのグループビデオ通話の活用が好都合なため、シニア向けLINE講座を計画します。なお、受講生の利便性の向上のため、ITに関する何点かの要望を事務室に提出しました。より良いオペレーションを実現するべく、前向きな対処を期待します。

(2021年10月取材)



ザ・対談 ~委員会代表 石塚達郎さん にお話を伺いました~

NL委員) Zoom操作マニュアルは大変役立ちました。作成には時間も労力もかかったと思いますが、いかがでしょう。

石塚) コロナ禍で会えないので、仲間と定期的にオンラインで飲み会をしようということになりました。ところが、技術系の仲間が多いのですが、意外と皆さんZoomが繋がらない。このままでは飲み会ができないので、ばたばたもがきながらマニュアルを作ったんです。それでも、繋がらない、音が出ないなどのトラブル続きで、沢山の失敗を経験しました。自転車乗りでいえば、沢山転びました。ところで、この経験を委員会では話したら、どうやら「Zoomがわかる人」と思われたようで、いつの間にかとりまとめ者になりました(笑)。

NL委員) 談話室はコロナ禍の良いコミュニケーションの場になりました。どのように運営されたのでしょうか。

石塚) まずは委員全員がZoomホストになるトレーニングから始めました。Zoomホストも自転車乗りと同じで、乗れてしまうと自然にできるようになるものです。不安はありましたが、いざ始まったら、委員の頑張りや参加されたRSSCの皆さんの温かなお心と寛容な対応で、談話室が和やかな場になりました。委員経由で集めたゼミの皆さんの貴重なご意見を反映させながら、議題やスケジュールを組んでいきました。夏の間の談話室の感想を集めたところ、多くのプラス面のフィードバックがあり、大変嬉しかったです。

立教大学のクリスマス

素朴でシンプルだけど、美しく温かい光...それが立教のツリー。

RSSCクリスマスの集い~サイレント・クリスマス~ (12月16日)



秋学期最大のイベントであるクリスマスの集いが9号館大教室にて、ミックス型で行われました。西原学長によるご挨拶、長副学長より祝辞を頂き、聖歌隊の動画配信やハンドベルクワイアによる生演奏がありました。クリスマス委員会メンバーのサンタの帽子による演出も雰囲気盛り上げてくれました。コロナ禍で制限はあったものの、対面の喜びを感じながら、とても思い出深いイベントとなりました。



野田ゼミ有志によるハンドベル演奏

イルミネーション点灯式 (12月3日YouTube配信スタート)

立教大学のシンボルである二本のヒマラヤ杉に、ハンドベルクワイア、聖歌隊、オーガニスト・ギルドによる演奏のもと、イルミネーションが灯されました。

RSSCクリスマス礼拝 (12月16日)

RSSCのための特別なクリスマス礼拝が、立教学院諸聖徒礼拝堂で行われました。中川チャプレンより「クリスマスのお話とお祈り」を頂きました。

修了生の活動

「年寄半日仕事」的起業。—ケアマネとボランティアと—

10期 櫻村隆男

かつて高齢者の星、三浦雄一郎が唱えた日本古来よりの喩え「年寄半日仕事」。これが、私の高齢期のモットーである。半日は仕事をし、残りは自分の好きなことをする生き方である。私は、RSSC専攻科を2019年に修了した。第二の青春とも言うべき充実した受講生生活を送ることができた。ゼミや研究会の仲間との交流は、今でも続いている。修了後、地元社会福祉協議会で高齢者向けのサポーター等のボランティア活動に従事していた。しかしボランティアと趣味だけの生活に物足りなさを感じ、以前やっていたケアマネを昨年4月に合同会社として起業した。いわゆる「一人ケアマネ」の事業所である。独立するということは自身で仕事量を調整でき、半日仕事を実践できる利点がある。



私のソーシャルテーマは「高齢者の孤独」と「高齢者の貧困」。これを少しでも解決することが私の社会的貢献と考えている。起業に際しては、定款作成、法人登記そして区への申請等全て一人でこなした。高齢者の起業は無理をせず、自分のペースで、得意の分野をやるのが肝要かと思う。毎日利用者宅や介護事業所を自転車で廻り、パソコンでケアプランを作成するという日々を送っている。「人と話す」「脚を使う」「頭と指を使う」と言う一連の行為は、正に介護予防に相当する。目指すは、日本最高齢のケアマネと言うことになるだろうか。「年寄半日仕事」、今年はケアマネと書道と〜。そして古稀を迎える。

オリンピックボランティア経験談

「はっぴいえんど」

本科 山田耕平



2009年の招致失敗から12年に亘るオリンピックジャーニーが終わりました。色々ありましたが、かけがえのない経験ができました。自宅が晴海選手村の目の前であることに加え、ボランティアの活動場所が日頃通うテニススクールがある有明テニスの森ということで開幕を心待ちにしてきました。コロナによる無観客開催決定により一時はボランティアの仕事が全てなくなる危機に直面しましたが、1日だけ活動の機会をいただきました。しかも役割はなんと閉会式の旗手。これまでの困難も最後の最後でチャラになりました。

RSSCも秋学期からは遂に対面授業が始まりました。これまでの不運も修了時にはきっとチャラになっていると思いますので、皆さん残りのキャンパスライフをともに思い切り楽しみましょう。

「霞ヶ関CC, 15番ホール」

専攻科 坂川克己



オリンピック期間中は本当に暑かった。特に会場となった霞ヶ関カントリークラブは暑かった。夕立・スコールもありました。無風の日が多かった印象です。風があったとしても、熱風となって肌を焦がします。世界中から選ば抜かれたプレイヤー、男女ともに60名、計120名。目の前で世界中のプレイヤーのプレイが見られたのは忘れられない思い出です。

15番ホール、グリーン上ボールのパット計測係です。写真にありますように、槽の2階部分（3階部分はテレビ中継カメラ）でOMEGA製のカメラ計測器での計測と、同時にグリーン上のメッシュ座標（1ヤード平方単位座標）の目測によるボール位置のシステム端末パッドへの入力、修正、登録作業となります。この事により、何ヤード飛んだ、パットの残り何ヤードが残っていると、計測します。人生で得難い経験をしました。

課外活動

秋季リーグ戦 六大学野球観戦記

コロナ禍と台風の影響で1週間延期された六大学野球。日差しが強くまだ夏の暑さが残る秋晴れの9月の日曜、ようやく開幕した初戦(対早稲田戦)を取材のためのNL28号委員会有志7人で観戦。緑の芝生に真っ青な空、そしてグラウンドに響く選手たちの生き生きとした声。なんとすがすがしい風景なのだろう。応援団の身近で応援は叶わなかったが、対戦相手への敬意も忘れない熱いパフォーマンスに感動しながら、歴史的背景のある伝統試合をRSSC受講生として応援できる喜びを感じた。勝敗はもちろん重要だが、球児たちの野球が出来る喜びに満ちたその澁刺とした明るい姿に私達RSSC生は感動と勇気をももらった。ありがとう立教野球部球児たち。ありがとう学ランリーダー部、チアリーダー部、吹奏楽部。



神宮球場にて

古代オリエント博物館見学

10月に池袋サンシャインシティ内の古代オリエント博物館をRSSC本科生と専攻科生の13名で訪問し、同博物館館長で立教大学名誉教授の月本昭男先生の解説のもと館内を見学しました。優しく穏やかな語り口の月本先生の解説は、展示一点一点の魅力を余すところなく伝え、参加者は皆しばしば太古のロマンへと引き込まれました。この企画はオンライン談話室で発案され、そのホストの比田井さんが幹事で実施しました。



NL28号編集委員 木内弘之、熊田寿子、小関純子、笹本美登里、鈴木恵美子、戸張君代、光澤恵美子、茂木直人
担当教員 大野 久

答え：箱根駅伝本戦復帰